

文化・経済フォーラム滋賀

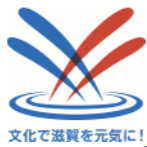
文化deけいざい 経済deぶんか ニュース&にゅーす 第2号(2011年4月11日)

発行 滋賀県文化振興事業団内事務局(大津市京町3丁目4-22 旧滋賀会館内)

077(522)8369 fax 077(522)9647

eメール bunka-keizai@shiga-bunshin.or.jp

事務局 岸野 洋



文化deけいざい 経済deぶんか
ニュース&にゅーす 第2号

クラが咲

きました。パッと晴れやかなサクラより、震災地を思うと、今年は花曇りで見るサクラが気持ちに合う気がします。県会議員選挙、なんとなく終わりました。当選の議員さん、おめでとうございます。県政の担い手、初心忘れずで、宜しく願います。文化で滋賀を元気に!の運動にも心を寄せていただくようお願いします。

それでも...、季節は巡り、サ

きました。パッと晴れやかなサクラより、

創刊メルマガのおり、予告しました**設立総会時のアンケート結果**について、お知らせします。入会者数ですが、**216人(団体)**です。発起人会のおり、100人(団体)が目標でしたから2倍です。前県教育長だった齊藤俊信さんがこの4月に発足した滋賀次世代文化芸術センター(事務局・滋賀会館)代表に就任され、ご挨拶にお見えのおり、入会申し込みがありました。感謝です。手続きすめば、217人(団体)になります。

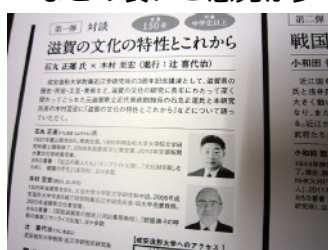
入会の内訳ですが、**個人135、団体34、法人47**です。会員の皆さまには、あいうえお順の入会名簿をお配りしましたが、文化、経済、行政、大学...様々なジャンルの方々です。経済と文化の比率が、気になるところですが、**総会出席者146人中、アンケートでお答えいただいた80人では、文化64人、経済14人、無記入2人**でした。文化が80%、圧倒的でした。先日、副代表幹事の平和堂・夏原平和社長にご報告を兼ね、お目にかかりましたが、もっと経済人に加入してもらわないとなあと、宿題をいただきました。

加入者のお住まいは、湖南44人で55%と半数を越し、次いで湖西13人、湖東7人、湖北6人、県外7人でした。県外では中国・北京で会社を営む近江八幡市出身の住田崇さんもその一人で、ふるさとのお役に立ちたいと、総会にも帰国して顔をみせていただきました。**フォーラムは経営部会(中村順一部会長)企画部会(井上建夫部会長)広報部会(馬場章部会長)の3部会で運営します。**アンケートでは、どの部会にご加入いただけるか、ご希望を伺いましたところ、**経営3人、企画32人、広報11人**でした。総会に参加されなかった方にもアンケートを送って、お聞きしたら、**企画で5人、広報で2人**増えました。各部会をどう切り回すか、これからが部会長の腕だと思います。

ご意見もお書きいただきました。主なものを以下に紹介します。

国民文化祭の話が出たが、フォーラムの目標を持つことが必要だ
現代美術への理解と琵琶湖を中心に新たな発信、ワールドワイドな展覧会の展開
文化と経済人が一同に集える場の設定
他県にないユニークで斬新な企画、文化で儲ける視点、スピードある実行力
県内の文化イベント、講演会などの情報入手と交流の場
アートイベントの企画と作家に仕事の場の提供 などです

などの良いご意見が多く、フォーラムへの期待の大きさを感じます。この15日、部会長会議を開き、具体策を話し合ってもらいます。結果はまたご連絡します。



会員情報、2件お知らせします。**フォーラム代表幹事の木村至宏・成安造形大付属近江学研究所長と幹事の美術史家・石丸**

正運氏が4月23日(土)午前10時から成安造形大学で「滋賀の文化の特性とこれから」と題して、対談されます。近江学研究所設立3周年記念講演の第1弾です。定員150人、受講は無料です。木村先生は近江学の父と言われ、近江のことなら何処からでも切り込んでもらえますし、石丸先生は琵琶湖文化館振り出し、滋賀の美術に関してオールラウンドプレイヤーと言ってよく、二人の対談で、タイトルどおり、これからの滋賀の文化の進むべき道を示唆してもらえそうです。

ご存知の方もいると思いますが、**<M・O・H通信>31号(2011春号)が発刊されました。**長浜市に本社のある新江州(株)が編集・発行です。**MOHは「もったいない、おかげさま、ほどほどに」が環境と人間を育てるという意味で、環境型社会システム研究所内に編集局**を持っています。代表は滋賀経済同友会特別幹事の森建司さんで、フォーラム会員です。**今月号の特集は可能性～未来予想～です。**森代表が「日本でいちばん大切にしたい会社」の著書がある坂本光司さん(法政大学大学院政策創造研究科教授)と対談しています。全部は紹介できませんので、サブ見出しを拾いますと**企業の最大の商品社員であるモチベーションを高めるのは競争か?共生か? 真の強者と偽者の強者 「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞創設**などです。6000部発行、購読の申し込みなどは長浜市川道町759-3、循環型社会システム研究所 0749(72)5277です。



以上、第2号でした。次は溜まった新聞からで拾い集めてみます。(文責・岸野)